

# 映画から見る日本文化

選択(2単位) 水3時限 教員氏名：伊藤 みちる

開講年度 2017年度

開講学期 2017年度（後期）

**【授業種別】** 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

**【授業概要】** 日本語中級後期～上級レベルの学生を対象とする。主に2000年以降に作られた比較的新しい邦画を視聴しながら、様々な場面で使われる多様な日本語、日本事情、日本文化・慣習についての幅広い知識を深める。

**【授業計画】** 授業15回で15本の映画を紹介し、毎回の授業で映画の一部を視聴する。（一部視聴した映画のDVDは大妻女子大学総合情報センター図書館若しくは教員が所蔵。図書館のものは各自で図書館地下1階にて視聴可能。ただし貸し出し不可。）

**【授業内容】** 主に、学生生活、歴史、方言、日本食、伝統文化、社会問題、世代間価値観の相違や死生観などにいたる幅広いテーマの映画を視聴する。指示された日本文化事情テーマに関する予習は必須。毎回の授業では予習を元に、予習によって明らかになった事柄について確認した上で映画を視聴する。その際には、コミュニケーション・スタイルや周辺言語、非言語コミュニケーション、価値観とそれに基づく行動パターンや、聞きなれない言い回しや方言に気をつける。視聴後、内容理解と内容に関する議論を行う。

**【評価基準】** 授業出席3分の2以上を評価対象。積極的な授業への参加が求められる。

評価割合は、宿題予習レポート50%、レポート50%。

レポートについては、「適切な問題が設定されている」、「設定した問題の背景を説明している」、「設定した問題に対してどのような課題が存在しているのかを指摘している」、「その解決策について、既存の学説等がどのように述べられているのかを挙げている」、「既存の意見を踏まえた上で、自分の考えを述べている」の点について評価を行う。

S (100~90点) A (89~80点) B (79~70点) C (69~60点) D (59点以下)

**【教材】** 毎回プリントを使用。参考文献・資料などは適宜紹介する。

**【その他】** 質問等は授業後若しくはメールにて受け付ける。オフィスアワーやメールアドレス等の連絡先は初回授業時に伝える。